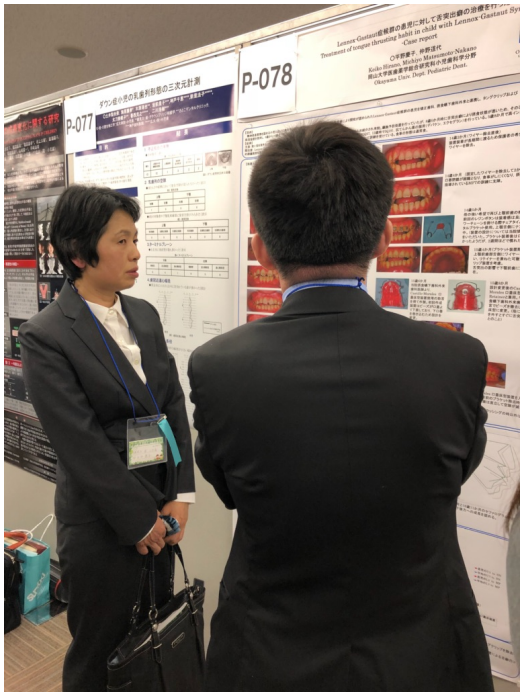
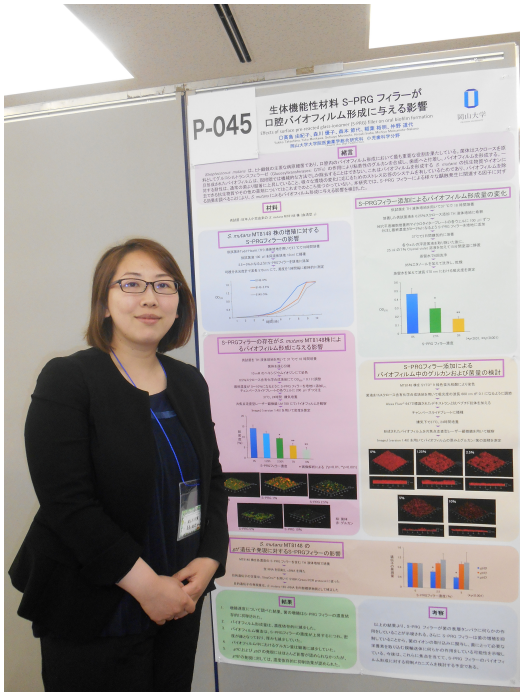
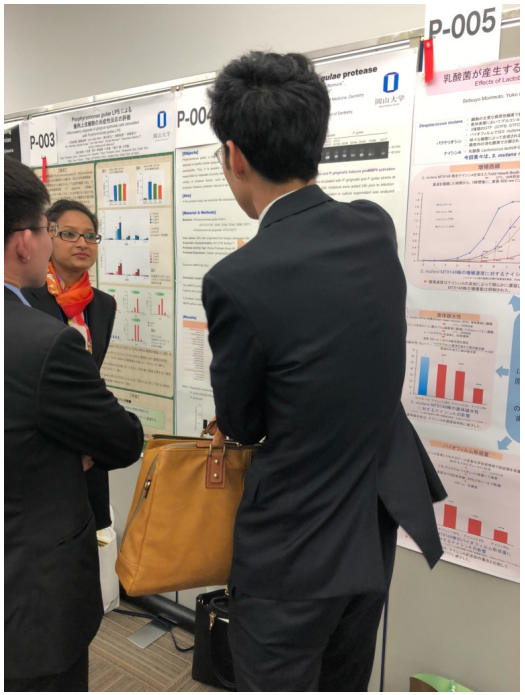
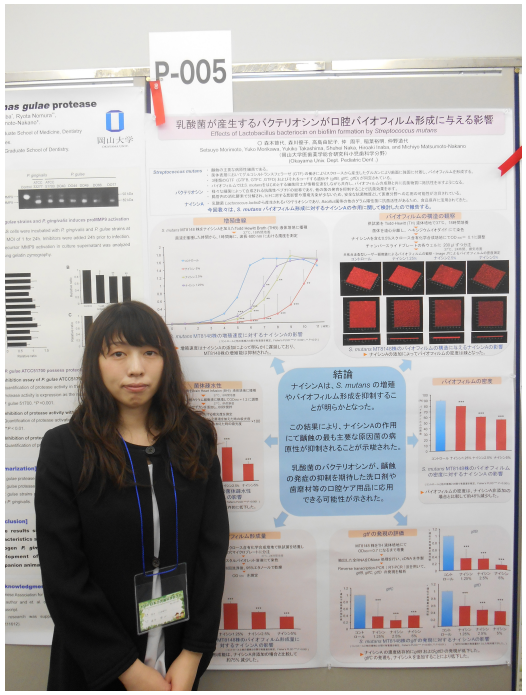

第56回
日本小児
歯科学会大会
56th Annual Conference of
the Japanese Society of Pediatric Dentistry
自然・進化・未来
～子どもよりたいせつなものはありますか～
会期
2018年
5月10日(木)～11日(金)
会場
大阪国際会議場
大会長
有田 憲司
大阪歯科大学歯学部小児歯科学講座 主任教授
準備委員長
原田 京子
大阪歯科大学歯学部小児歯科学講座 准教授

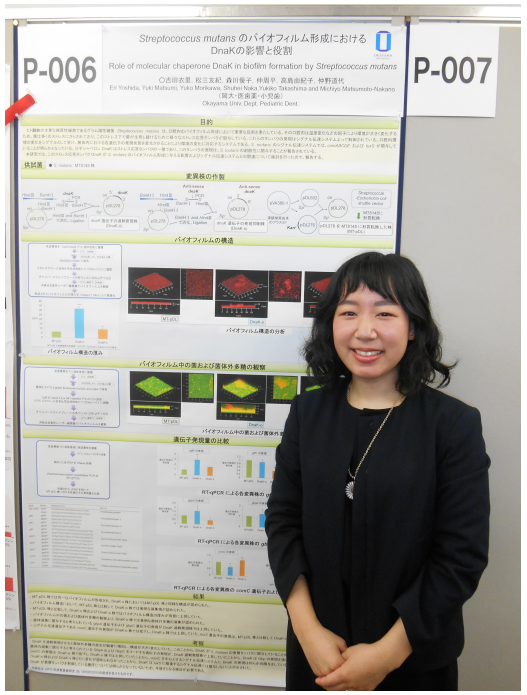

第56回
日本小児
歯科学会大会
MORITA

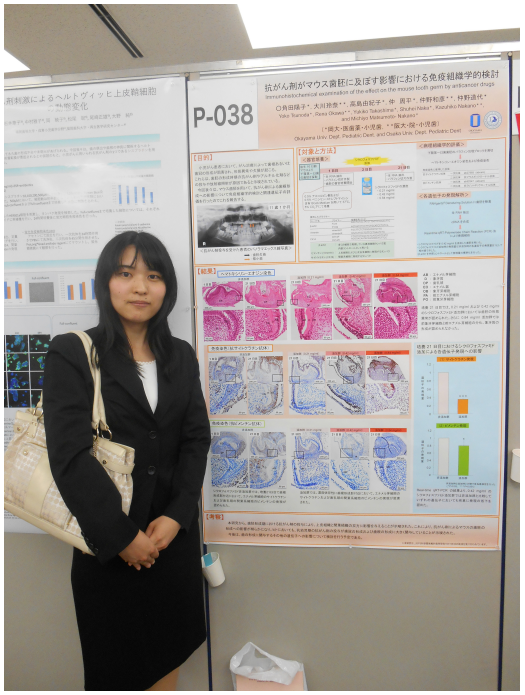

P-077
P-078


P-045
生体機能性材料 S-PRG フィラーが
口腔バイオフィルム形成に与える影響


P-003
P-005


P-005
乳酸菌が産生するバクテリオシンが口腔バイオフィルム形成に与える影響
Effects of Lactobacillus bacteriocin on biofilm formation by Streptococcus mutans
結論
ナイシンAは、S. mutans の増殖やバイオフィルム形成を抑制することが明らかとなった。
この結果により、ナイシンの作用にて齲蝕の最も主要な原因菌の病原性が抑制されることが示唆された。
乳酸菌のバクテリオシンが、齲蝕の発症の抑制を期待した虫歯予防や歯部材等の口腔ケア用品に応用できる可能性が示された。


P-006
Streptococcus mutans のバイオフィルム形成における DnaK の影響と役割
Role of molecular chaperone DnaK in biofilm formation by Streptococcus mutans
P-007


P-038
抗がん剤がマウス歯胚に及ぼす影響における免疫組織学的検討




を育む子育て法」
子の転倒予防 ―子どもの運動と運動器を大切に―」